

岡山県学校図書館協議会絵本研究部会

岡山県学校図書館協議会絵本研究部会では、「心をつなぐ絵本」という研究テーマのもと今年度は「命と向きあう絵本」をサブテーマとし、研究と実践を続けてきました。研究を通して確認された絵本と新しく出会った絵本の中から、読み聞かせたい絵本をお知らせします。

<u>書名</u>	著者	出版社	価格	出版年	実践学年
-----------	----	-----	----	-----	------

命と向きあう絵本

ゆらゆらばしのうえで

きむらゆういち 作 はたこうしろう 絵 福音館書店 ¥1,200
2003 幼～小中

必死に逃げるうさぎ。逃がしてなるものかと追いかけるきつね。一本橋を渡ろうとしたとき、橋が崩れてきつねとうさぎは橋の上で身動きがとれなくなります。ふとした会話から、きつねとうさぎの心にはある変化が起き始めるのですが、その矢先に橋が崩れ始めどちらも絶体絶命！最後までハラハラドキドキの1冊です。

くものうえのハリー

城井 文 著者 パイインターナショナル ¥1,400
2015 小～高

大切な我が子を亡くして悲しみに暮れるおかあさん。そんなおかあさんを心配したこひつじハリーは、勇気を出して雲の上からおりていきます。誰もが避けては通れない大切な人との別れ。でも、その別れは苦しみだけではないことを教えてくれる、切なさや優しさの詰まった絵本です。

木のいのち

立松和平 作 山中桃子 絵 くもん出版 ¥1,200
2005 小高～高

戦争が終わった後の街に残った一本のけやき。その大木に人は勇気づけられ、街も元気を取り戻していきます。その木とともに過ごしてきた千春の人生をめぐる、人には人の、木には木の「生」があり、私たちは自然や物とも深くつながっていることを実感します。「生き方」や「つながり」を意識する思春期の子に薦めたい絵本です。



きつねのおきやくさま

あまんきみこ 作 二俣英五郎 絵 サンリード ¥1,800
1984 幼～小中

はらぺこきつねの前に現れたのは、やせたひよこ。きつねはひよこを太らせてから食べようと家に招いてご飯を食べさせます。しかし誘われてやってきたあひるやうさぎ、ひよこたちの「やさしい」「しんせつ」な思いがきつねの気持ちを変えていきます。ある日、腹をすかせたおおかみが現れて……。そのとききつねが取った行動は？心が優しくなる1冊です。



とんでいったふうせんは

ジェシー・オリベロス 文 ダナ・ウルエコッテ 絵
落合恵子 訳 絵本塾出版 ¥1,500 2019 小～高

おじいちゃんは長く生きてきたから、思い出という風船をたくさん持っています。僕はおじいちゃんの思い出の風船の話聞くのが大好きでした。でも、ある日その風船はおじいちゃんの手を離れ……。人生に試練はあるけれど、希望に満ちていることを子どもたちに伝えようとする絵本です。



生きる

谷川俊太郎 詩 岡本よしろう 絵 福音館書店 ¥1,300
2017 小～高

6年生の国語の教科書にも載っている詩が絵本になりました。「生きていること いま生きているということ」のリフレインに、なつかしい昭和の風景が重なって、心に響きます。いのちの大切さのメッセージが込められています。

優しい絵本



ねえさんといもうと

シャーロット・ゾロトワ 文 酒井駒子 絵・訳

あすなろ書房 ¥1,300 2019 幼～高

妹思いの姉。姉を慕う妹。ある日、いなくなった妹を探すうちに姉は不安で泣いてしまいます。今度は妹が、いつもしてもらっているように姉を慰めます。小さな姉妹の心の絆と成長が感じられ、やわらかなタッチと淡い色彩は二人の思い出をのぞいているような穏やかな気持ちになります。

楽しい絵本



くまくん

二宮由紀子 作 あべ弘士 絵 ひかりのくに ¥1,200

2004 幼～小

「くまくん」が逆立ちをして「まくくん」になるところからお話は始まります。「まくくん」に出会った動物たちも逆立ちをして、名前がひっくり返ります。子どもたちは感心したり、一緒に考えたり、大笑いしたりと大忙しです。読んだ後で、いろいろな言葉を逆さまにして遊びたくなります。



ちやんとたべなさい

ケス・グレイ 作 ニック・シャラット 絵

よしがみきょうた 訳 小峰書店 ¥1,300 2002 幼～小

デイジーはお豆が大嫌い。デイジーに豆を食べさせるために、お母さんはあれこれ提案していきます。提案が突拍子もなく面白いのはもちろん、何度も「おめでとうきれい」と言い返すデイジーの様子も面白く、子どもたちは大笑い。デイジーの顔や文字が少しずつ大きくなっていく視覚的な楽しさにも引き込まれます。



どしゃぶり

お一なり由子 文 はたこうしろう 絵 講談社 ¥1,400

2018 幼～小

急な雨。一人の男の子が雨にうたれたり、裸足で駆け回ったりする様子は、まるでその場において雨を楽しんでいるような臨場感や迫力があります。表現豊かに描かれ語られる雨の動きや形、音などに子どもたちも引き込まれ、歓声を上げたり、音をまねたりして楽しむことのできる一冊です。

SDGs とつながる絵本

へいわとせんそう
Heiwa to Senso



へいわとせんそう

たにかわしゅんたろう 文 Noritake 絵

ブロンズ新社 ¥1,200 2019 幼～高

白と黒のモノトーンで描かれる日常の「へいわ」と「せんそう」。人や物や場所を見開きごとに比べると、知らず知らずのうちに平和と戦争の違いが見えてきます。これまでになかった、子どもから大人までお薦めできる平和絵本。リアルな「せんそうのくも」も必見です。



へいわってすてきだね

安里有生 詩 長谷川義史 画 ブロンズ新社 ¥1,400

2014 幼～高

小学1年生の男の子が書いた平和への思い。純粹で、素直で、力強いまっすぐな願いを、今の日本に、そして世界の人々にひとりでも多く伝えたいと、長谷川義史さんが絵を描きました。「へいわって なにかな。ぼくはかんがえたよ。」で始まる、平和へのメッセージです。



たべる たべる たべること

くすのきしげのり 作 小渕もも 絵

おむすび舎 ¥1,500 2020 幼～高

一人の女の子の成長を見つめながら、たくさんの「たべること」を通して、大切にしたいこと、伝えていきたいことが、幅広い世代に向けて丁寧に描かれています。「たべる たべる たべること」のフレーズが繰り返される、あたたかなリズム感も素敵です。



プラスチックのうみ

ミシェル・ロード 作 ジュリア・ブラットマン 絵

川上拓土 訳 小学館 ¥1,500 2020 幼～高

人間が出したプラスチックごみが、海に暮らす生き物を傷つけたり命を奪ったりしている現実を、美しいイラストでリアルに描写しています。きれいな海を取り戻すにはどうしたらいいか、読み聞かせの後みんなで話し合ってみたいですね。岡山在住の小学生の男の子が、韻を踏んだ素晴らしい翻訳をしています。